



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第123号
平成30年11月号

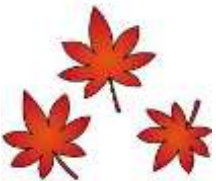
『10年ひと昔』



今月、いよいよ「杭州日本人学校創立10周年記念式典」と「学習発表会」が同日に行われます。「やっと10年。とうとう10年。何とか10年。」10年というのは人にとって様々な意味で大きな節目です。学校にとっては「ようやく10年」というのが最もふさわしいかもしれません。創立10周年を迎える学校というのは、ずいぶん新しい学校と言えます。日本では戦後の昭和22年（1947）に新学制の下にできた学校がたくさんあります。それらの学校はもう71周年ということになりますから、伝統のある学校と言えますね。

しかし本校の10年もその歩みには色々な歴史があったのです。そして、この先の20年、30年と積み重ねていくことで、杭州日本人学校の伝統が育まれていくことでしょう。

そして学習発表会は日頃の学習活動を結実させる機会です。これまでの学習を实らせるという意味でも大切です。また、これまでの学習内容を見直し、いよいよ来年度に向けて踏み出す時期とも言えます。すべての学習活動を充実させて行きましょう。



保護者の皆様には、本校の創立10周年を共に祝福いただき、また子供たちの頑張りの成果をぜひご覧いただきたいと思っております。授業で制作した図工・美術、書写をはじめとする教科の作品が展示・掲示されます。そして舞台発表では、練習に練習を重ねた劇や合唱・合奏が披露されます。どんな作品が観られるのか、また一人一人がどんな声を聴かせてくれるのか、どうぞお楽しみに。



秋が深まれば、やはり思い浮かぶのは「紅葉」などの行楽の秋、「七五三」などの行事、「実りの秋」でしょうか。西湖の周辺のプラタナスが美しく色づき、美味しい食材がここ杭州でも店頭に出揃います。上海ガニをはじめ、茸や栗などさまざまな秋の味覚が味わえる今日この頃です。

しかし、秋と言えば行楽や食欲以外にも「芸術の秋」、「スポーツの秋」、「文化の秋」、「読書の秋」など、充実させたい事柄がたくさんあります。秋はとても良い季節です。暑すぎず寒すぎず、体を思い切り動かしやすいですね。しかし昨年の秋も杭州の気温は一気に下がりました。汗をかいた後はしっかりとらいて着替えるなど、風邪を引かないように十分注意しましょう。



杭州日本人学校の子供たちは日頃から本当にたくさんの本を読んでいます。「読書の秋」とはいえ夜更かしはいけませんが、どうぞ良い本をたくさん読むようにしてください。

